

# 第 23 回全日本パラグライダー 学生選手権 2018 in 足尾 大会報告書



2018 年度パラ学実行委員長 宇津 子龍

# 目次

1. はじめに
2. 大会結果
  - 2.1 Sport Class
  - 2.2 Open Class
3. 大会レポート
4. 協賛について
  - 4.1 協賛品
  - 4.2 協賛金
  - 4.3 参加賞、パンフレット
5. おわりに

## 1. はじめに

この度、2019年3月5日～7日に茨城県足尾山にて、第23回全日本パラグライダー学生選手権2018 in 足尾（通称2018年度パラ学）が開催されました。全国からSport Class 22名、Open Class 17名の計39名が集まり、全員が怪我無くフライトし、交流を深め、無事に大会を終えることができました。本大会に協賛等で多大なるご支援、ご協力をくださった企業様及び個人様、誠にありがとうございました。おかげさまで、選手達は気持ちよく競技に集中することができ、また賞品として皆様からいただきました協賛品が贈呈され、大変喜んでおりました。

本報告書では2018年度パラ学の結果や選手達の様子、協賛などについてご報告させていただきます。

## 2. 大会結果

### 2.1 Sport Class

#### 全日本パラグライダー学生選手権 2018 in 足尾 sport class

2019-03-05to2019-03-08

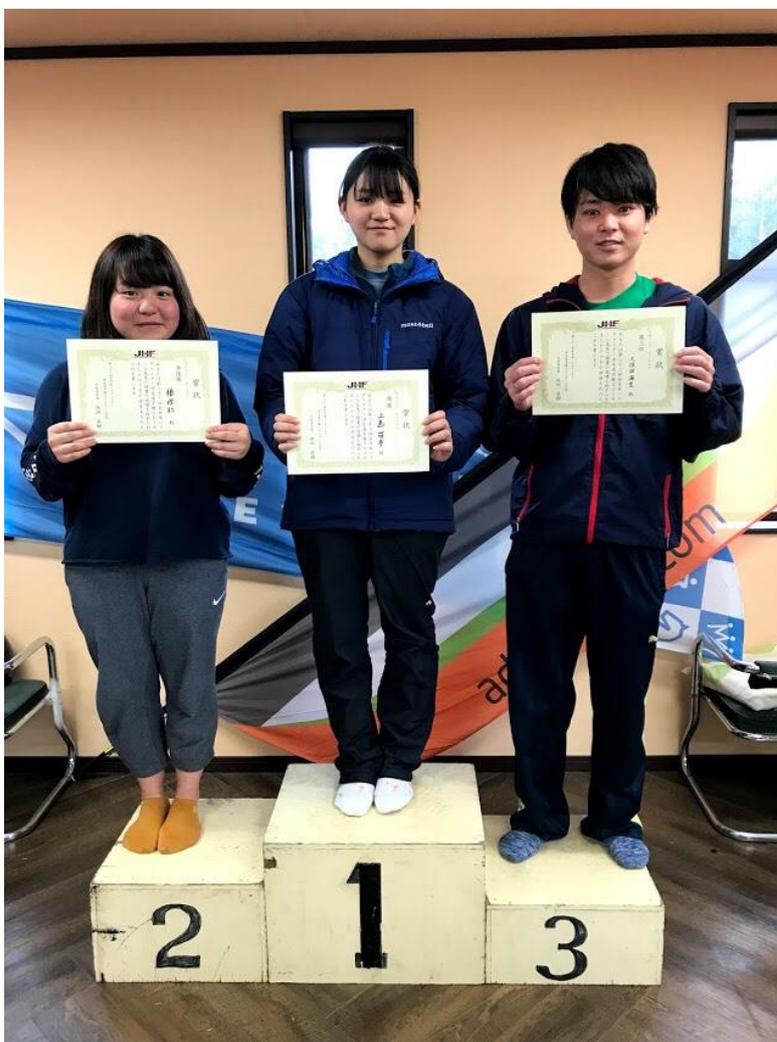
Day1

2019-03-05

デュレーション and ターゲット

順位	ID	氏名	大学	クラス	機体名	時:分:秒 離陸時刻	時:分:秒 着陸時刻	RVFd 0.45 滞空時間	RVFt 0.83 ターゲット	得点
1	4	上島萌夢	日本大学	ターゲット	MOJO5	14:23:31	14:34:27	300	105	582
2	10	榊理彩	早稲田大学	ターゲット	ボレロ4	13:45:25	13:50:33	300	447	482
3	16	久保田海生	山形大学	デュレーション	Adam	14:30:05	14:42:22	737	65	423
4	5	中澤 悠大	東京工業大学	ターゲット	MOJO5	14:37:43	14:48:22	639	796	390
5	13	尾崎正明	東京工業大学	デュレーション	ボレロ5	13:35:02	13:39:42	280	141	388
6	18	酒井 将	筑波大学	デュレーション	Prion3	14:39:39	14:56:56	1037	769	299
7	19	岩瀬 義孝	早稲田大学	デュレーション	Majo5	14:31:16	16:12:22	6066	2639	272
8	22	三宅悠生	山口県立大学	デュレーション	comet	14:22:37	14:43:31	1254	1290	207
9	15	山縣宥介	日本大学	デュレーション	MOJO5	14:26:55	14:43:07	972	1540	146
10	20	若松大志	弘前大学	デュレーション	FIDES5	14:00:13	14:32:45	1952	-	88
11	9	中村 風	早稲田大学	ターゲット	MESCAL5	13:55:58	14:23:07	1629	-	49
12	21	佐藤みずほ	北芸術工科大学	デュレーション	Pica	14:33:57	14:44:10	613	-	28
13	1	今泉在志	山形大学	ターゲット	mojo5	14:35:13	14:46:02	649	-	19
14	2	篠崎佑介	山形大学	ターゲット	EAZY	14:35:44	14:44:20	516	-	15
15	11	佐藤 达星	弘前大学	ターゲット	ボレロ4	14:29:50	14:38:51	300	-	9
16	8	那須智美	東洋大学	ターゲット	プリオン3	13:55:03	14:17:33	300	-	9
17	7	能祖雄大	東京工業大学	ターゲット	mojo5	14:27:28	14:41:44	300	-	9
18	6	齋藤康介	埼玉大学	ターゲット	element2	15:12:09	15:22:21	300	2470	9
19	3	土田顕光	東京都市大学	ターゲット	ATOM3	14:25:09	14:35:32	300	-	9
20	17	深尾 匡詞	秋田大学	デュレーション	プリオン3	-	-	-	-	0
21	14	倉上桃佳	日本大学	デュレーション	HOOK4p	-	-	-	-	0
22	12	宇津 子龍	東京工業大学	デュレーション	element	-	-	-	-	0

※Day2, 3 は悪天候のためキャンセル、最終結果は Day1 と同一のため省略。  
※20～22 位は空中接触・山沈などの理由により失格。全員怪我はありませんでした。



左から順に椿理彩選手（早稲田大学）、上島萌夢選手（日本大学）、久保田海生選手（山形大学）

スポーツクラスはデュレーション（滞空時間）とターゲット（着陸精度）の総合点で競うクラスで、選手は大会エントリー時にどちらを重視した得点配分にするか決めることができます（6：4 or 4:6）。今大会ではデュレーションの平均時間が短く、 $RVF_d$ （デュレーションのダイクオリティ）が小さくなったために、ターゲット重視でエントリーし、かつターゲットの近くにランディングできた上島選手、椿選手が高得点をとることができました！

## 2.2 Open Class

# paragaku2018

2019-03-05 to 2019-03-08

## Total results

Provisional

Task	Date	Distance	Day Quality	
T1 day1	2019-03-05 13:30	17.4 km	65%	Elapsed time

#	Id	Name		Nat	Glider	Sponsor	T 1	Total
1	16	Takahiro Hukumaru	M	JPN	BGD CURE	SKYDUST	647	<b>647</b>
2	10	Mansaku Tanabe	M	JPN	GIN Bonanza2	Windchaser	585	<b>585</b>
3	5	Motoki Sumi	M	JPN	nova ION4	SYLPH	299	<b>299</b>
4	1	Yuichi Saito	M	JPN	AirDesign RISE2	EROSPAC	235	<b>235</b>
5	12	Akira Muramatsu	M	JPN	GIN Sprint3	solyers	225	<b>225</b>
6	6	Hirotsu Yamamoto	M	JPN	BGD Base	YUPC	211	<b>211</b>
7	11	Hiroki Ide	M	JPN	GIN carrera+	solyers	123	<b>123</b>
8	4	Kaishirou Shoubuike	M	JPN	SKYWALK CHILI4	SYLPH	87	<b>87</b>
9	15	Kazuki Ageishi	M	JPN	Ozone Rush4	YUPC	81	<b>81</b>
9	13	Syunsuke Nakagawa	M	JPN	GIN ATLAS	Windchaser	81	<b>81</b>
9	14	Ryousuke Yamada	M	JPN	nova PRION2	EPO	81	<b>81</b>
9	17	Takeru Togashi	M	JPN	SWING MISTRAL7	YUPC	81	<b>81</b>
9	3	Riseru Koshiishi	F	JPN	AirDesign EAZY	SYLPH	81	<b>81</b>
9	2	Minori Tanabe	F	JPN	Ozone Mojo5	MOSQUITO	81	<b>81</b>

#	Id	Name		Nat	Glider	Sponsor	T 1	Total
9	7	Hiroki Azeyanagi	M	JPN	Ozone BuzzZ5	SYLPH	81	<b>81</b>
9	9	Yoshiaki Kobayashi	M	JPN	Ozone Mojo5	YUPC	81	<b>81</b>
9	8	Emiri Syouji	F	JPN	advance ALPHA5	solyers	81	<b>81</b>



左から順に、田邊選手（秋田大学）、福丸選手（山口大学）、墨選手（東京工業大学）。

Open Class は決められたターンポイントを順に回り、指定地にランディングするまでの時間を競います。まさにパラグライダーの学生日本一を争うクラスですが、なんと山口大の福丸選手が3年連続1位！！圧倒的な実力で3連覇を勝ち取りました。

### 3. 大会レポート

ここでは選手や競技の様子についてレポートさせていただきます。

〈1日目〉

午前中は北風＋大気が荒れていたため競技ができませんでしたが、午後になると東風に代わり両クラスぞくぞくとテイクオフ！オープンクラスは気象条件が予報よりも渋い中、ゴールまで到達できた選手も現れました。スポーツクラス

では、午後の限られたタイミングで2時間弱フライトする選手やターゲットを踏む選手が現れ、接戦となりました。



開会式の様子。実行委員長宇津選手に選手宣誓する、昨年度1stクラス1位の畔柳選手。



東風がしっかり入ってきたタイミングで、選手が一斉にテイクオフ！



両クラス、まずはリッジ・サーマルソアリングで高度を獲得しにかかります！



パラグライダーがたくさん飛んでいる様子。



ターゲットを狙っている選手達。



王者福丸選手、全ターンポイントを回り終えてランディング！

1日目は両クラス全員フライトすることができ、白熱した競技となりました！

〈2日目〉

2日目は南風が5～7m/sと強く、テイクオフ場で待機するも、残念なことに競技はキャンセルとなりました。夜に上曽公民館にて行われたレセプションパーティーではハヤシライスが提供され、全国から集まったパラグライダーの選手同士で交流を深めました。



乾杯の音頭を取る齋藤選手。



ハヤシライスを食べながら交流を深める選手達。



スタッフ含め70人で盛り上がりました。

〈3日目〉

3日目はあいにくの雨で競技はキャンセル、早めの閉会式を行い、2018年度パラ学は終了しました。



大会委員長の板垣インストラクター（nasa 校長）から表彰状の贈呈。



最後に、1位から順に、企業様・個人様からいただいた協賛品を賞品として贈呈させていただき、本大会は終了しました。

#### 4. 協賛について

##### 4.1 協賛品

いただきました協賛品は選手への賞品として、1位から順に好きなものを取っていくという形で贈呈させていただきました。またゲインインターナショナル様からいただいたアクエリアスは開会式で選手に配布させていただきました。

## 4.2 協賛金

いただきました協賛金は選手への賞品の購入、及び運営費（主にレセプション費）に使わせていただきました。

## 4.3 参加賞、パンフレット

参加賞として以下の写真のようなTシャツを選手・スタッフに配布しました。裏面上部に協賛していただきました企業様のロゴを入れさせていただきました。



またパンフレットの方に協賛を下さりました企業様・個人様を、簡潔にはございますがご紹介させていただきました。加えてさんじゅう様から送っていただきましたグライダー等の宣伝も全頁掲載させていただきました。

## 5. おわりに

最後になりますが、本大会をこのような非常に充実し、選手にとって楽しく思い出に残るようなものとして開催できたのは、ご協賛各社・個人様の多大なるご支援とご協力によるものであり、この場を借りて深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。我々パラグライダー選手・スタッフ一同、精一杯活動을続けてまいります。今後ともご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします！



ご支援・ご協力、本当にありがとうございました！！